

## (5) 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

### 1) 動物

#### ア. 重要な種及び注目すべき生息地の状況

#### ア) 野生動植物保護地区の分布

愛知県の「平成24年版 環境白書」によると、愛知県内の15地域の自然環境保全地域のうち9地域内に野生動植物保護地区が指定されている。このうち、対象事業実施区域及びその周囲においては、東谷山自然環境保全地域内に野生動植物保護地区が指定されている。

#### イ) 鳥獣保護区の分布

愛知県内では68箇所の鳥獣保護区が指定されており、5箇所において特別保護地区<sup>(23)</sup>が指定されている。

対象事業実施区域及びその周囲の指定区域は、図4-2-1-18及び表4-2-1-73に示すとおりであり、4箇所の鳥獣保護区が指定されており、このうち森林公園鳥獣保護区内に特別保護地区が指定されている。

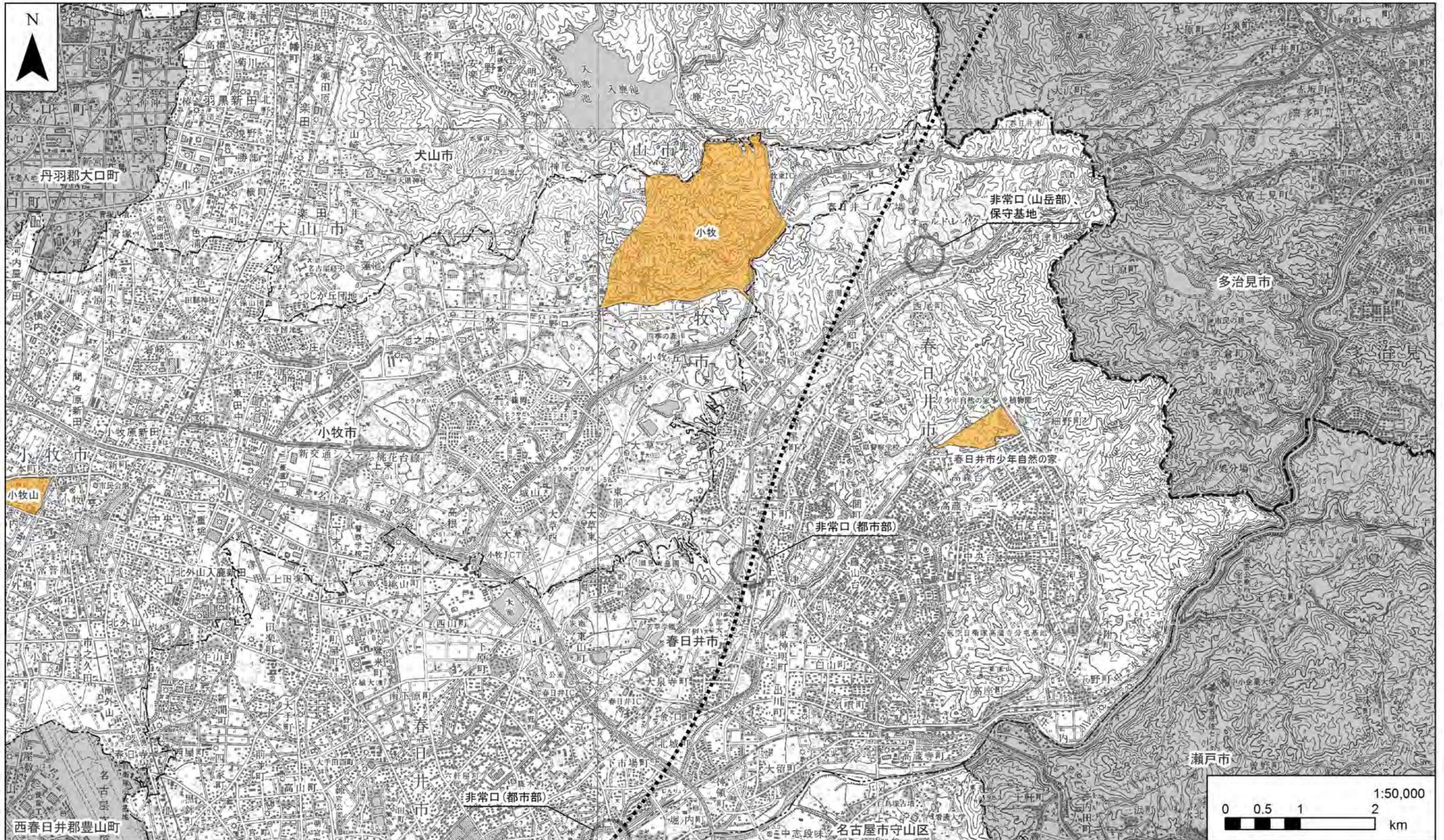
表 4-2-1-73 鳥獣保護区一覧

No.	名称	設定所在地	設定面積	特別保護地区面積	期間終了年月日
4	森林公園鳥獣保護区	名古屋市守山区他	1,290ha	165ha	平成34年10月31日
18	小牧山鳥獣保護区	小牧市小牧地内	22ha	—	平成29年10月31日
33	小牧鳥獣保護区	小牧市内	315ha	—	平成28年10月31日
52	春日井市少年自然の家鳥獣保護区	春日井市廻間町	39ha	—	平成30年10月31日

注1. 「No.」は、位置図に掲載されている番号をそのまま記載している。

資料：「平成24年度 愛知県鳥獣保護区等位置図」（平成25年6月現在、愛知県ホームページ）

<sup>(23)</sup> 特別保護地区内では、一定の開発行為について許可が必要となり、レクリエーション目的の人の立ち入り、自動車やバイク等の乗り入れを規制することができる。



凡例

..... 計画路線（トンネル部）    - - - 県境    - · - · - 市区町村境

- 鳥獣保護区
- 鳥獣保護区特別保護地区

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「平成24年度 愛知県鳥獣保護区等位置図」（平成25年6月現在、愛知県ホームページ）

図4-2-1-18(1) 鳥獣保護区の指定状況図

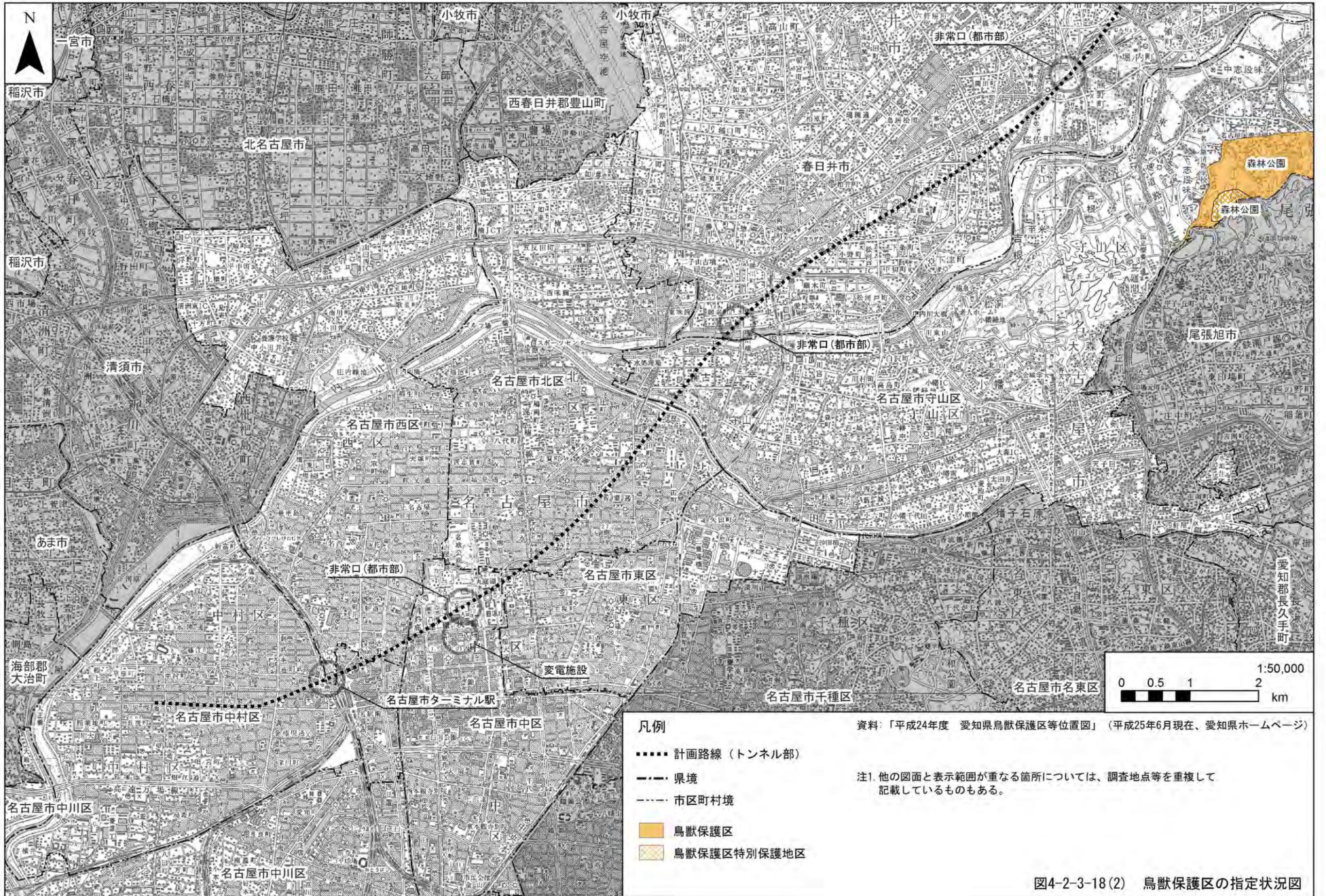


図4-2-3-18(2) 鳥獣保護区の指定状況図

#### り) 重要な動物及び天然記念物としての動物の生息状況、生息環境

哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類及び魚類の生息状況は以下のとおりである。

哺乳類の「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査（種の多様性調査）」、鳥類の「日本産鳥類の繁殖分布（第2回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査） 動物分布調査（鳥類）報告書）」については、対象事業実施区域を含むメッシュ<sup>(24)</sup>の範囲を整理した。

両生類・爬虫類、昆虫類及び魚類の「第2回自然環境保全基礎調査 愛知県動植物分布図」については、対象事業実施区域及びその周囲を整理した。

「レッドデータブックあいち2009」については、哺乳類、両生類・爬虫類及び昆虫類に係る対象事業実施区域を含むメッシュの範囲を整理した。また、「レッドデータブックなごや2004」及び「レッドデータブックなごや2010-2004年版補遺-」については、哺乳類、両生類・爬虫類、昆虫類及び魚類に係る対象事業実施区域を含む周辺区の範囲を整理した。

#### 【哺乳類】

「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査（種の多様性調査）」によると、愛知県内では、哺乳類の分布調査対象種とされた9種の中大型哺乳類（ニホンザル、タヌキ、アナグマ、ツキノワグマ・ヒグマ、キツネ、イノシシ、ニホンジカ、カモシカ）のうちヒグマを除く8種が確認されている。

「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査（種の多様性調査）」、「レッドデータブックあいち2009」及び「レッドデータブックなごや」に掲載された種のうち生息が確認された種は図4-2-1-19及び表4-2-1-74に示すとおりである。確認された種は、文化財保護法に基づく特別天然記念物に指定されているカモシカの1種、「レッドデータブックあいち2009」掲載種の6種、「レッドデータブックなごや」掲載種の10種となっている。

---

<sup>(24)</sup> 「対象事業実施区域を含むメッシュ」：地域特性の調査対象範囲は方法書と同様とし、対象事業実施区域及びその周囲に位置するメッシュデータとした。

表 4-2-1-74 生息が確認された哺乳類

目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	⑤
モグラ目	モグラ科	コウベモグラ				LP	VU
コウモリ目	キクガシラコウモリ科	キクガシラコウモリ					CR
ネコ目	イヌ科	タヌキ					NT
		キツネ					CR
	イタチ科	テン				NT	CR
		アナグマ				DD	CR
ウシ目	イノシシ科	イノシシ					
	ウシ科	カモシカ	特天				NT
ネズミ目	リス科	ムササビ				NT	CR
	ネズミ科	ハタネズミ				NT	EN
		カヤネズミ				VU	EN
5目	8科	11種	1種	0種	0種	6種	10種

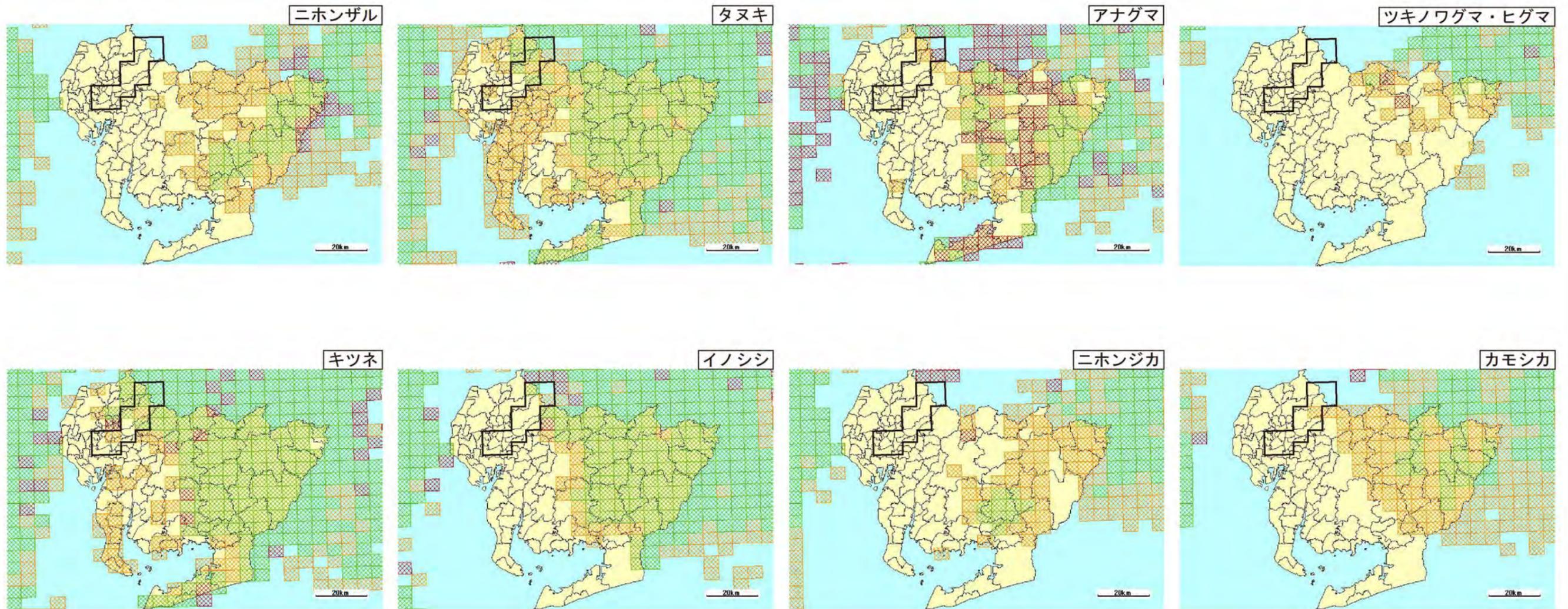
注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ① 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に定められた種(特天:特別天然記念物、天:天然記念物)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
- ③ 「環境省レッドリスト」(平成19年、環境省発表)に掲載されている種  
EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
- ④ 「レッドデータブックあいち2009」に掲載されている種  
EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑤ 「レッドデータブックなごや」に掲載されている種  
CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

注2. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

注3. 分類、配列などは、原則として「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査(種の多様性調査)」(平成16年、環境省)に準拠した。

資料:「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査(種の多様性調査)」(平成16年、環境省)  
「レッドデータブックあいち2009」(平成21年3月、愛知県環境部)  
「レッドデータブックなごや2004」(平成16年3月、名古屋市環境局)  
「レッドデータブックなごや2010 -2004年版補遺-」(平成22年10月、名古屋市環境局)



凡例

-  第2回調査のみ確認
-  第6回調査のみ確認
-  第2回と第6回の両方で確認
-  対象事業実施区域を含むメッシュ

資料:「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査(種の多様性調査)」(平成16年、環境省)

図4-2-1-19 主な哺乳類の分布図

## 【鳥 類】

「日本産鳥類の繁殖分布（第2回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査） 動物分布調査（鳥類）報告書）」に掲載された種のうち、生息が確認された種は、表 4-2-1-75 に示すとおりである。確認された種は、種の保存法に基づく国際希少野生動植物種に指定されているコアジサシの1種、愛知県の指定希少野生動植物種に指定されているコノハズクの1種、「環境省レッドリスト」掲載種の7種、「レッドデータブックあいち2009」掲載種の16種、「レッドデータブックなごや」掲載種の16種となっている。

表 4-2-1-75(1) 生息が確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④	⑤	⑥
キジ目	キジ科	ヤマドリ						
		キジ						
カモ目	カモ科	マガモ						
		カルガモ						
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ						
ハト目	ハト科	キジバト						
コウノトリ目	サギ科	ヨシゴイ				NT	EN	EN
		ミゾゴイ				EN	EN	EN
		ゴイサギ						
		アマサギ						
		ダイサギ						
		チュウサギ				NT		NT
		コサギ						
ツル目	クイナ科	ヒクイナ				VU	VU	VU
		バン						
カッコウ目	カッコウ科	カッコウ						NT
		ホトトギス						
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ				VU	VU	CR
チドリ目	タマシギ科	タマシギ					VU	VU
	チドリ科	コチドリ						
		イカルチドリ					VU	NT
		シロチドリ					NT	NT
		ケリ						
	シギ科	イソシギ						
カモメ科	コアジサシ		国際		VU	NT	VU	
タカ目	タカ科	トビ						
		ノスリ						
		サシバ				VU	VU	VU
フクロウ目	フクロウ科	コノハズク			○		CR	EN
		オオコノハズク					NT	NT
		アオバズク					NT	VU
ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ					EN	
		カワセミ						
キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ						
		アカゲラ						
		コゲラ						
スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ						
	ツバメ科	ツバメ						
		コシアカツバメ						VU
		イワツバメ						
	セキレイ科	キセキレイ						
		セグロセキレイ						
	サンショウクイ科	サンショウクイ					NT	NT
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ						
	モズ科	モズ						
	カワガラス科	カワガラス					VU	
	ヒタキ科	ヤブサメ						
ウグイス								
オオヨシキリ								
センダイムシクイ								
	セッカ							

表 4-2-1-75(2) 生息が確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④	⑤	⑥
スズメ目	ヒタキ科	キビタキ						
		オオルリ						
		サンコウチョウ					NT	
		コサメビタキ						
	エナガ科	エナガ						
	シジュウカラ科	ヒガラ						
		ヤマガラ						
		シジュウカラ						
	メジロ科	メジロ						
	ホオジロ科	ホオジロ						
	アトリ科	カワラヒワ						
		イカル						
	ハタオリドリ科	スズメ						
	ムクドリ科	ムクドリ						
	カラス科	カケス						
ハシボソガラス								
ハシブトガラス								
—	—	コジュケイ (外)						
—	—	ドバト (外)						
14 目	32 科	69 種	0 種	1 種	1 種	7 種	16 種	16 種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ① 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に定められた種(特天:特別天然記念物、天:天然記念物)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
- ③ 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」(昭和48年愛知県条例第3号)において指定希少野生動植物種に指定された種
- ④ 「環境省レッドリスト」(平成19年、環境省発表)に掲載されている種  
EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
- ⑤ 「レッドデータブックあいち2009」に掲載されている種  
EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ 「レッドデータブックなごや」に掲載されている種  
CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

注2. 外来種は、種数等に計上していない。

注3. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

注4. 分類、配列などは、原則として「日本鳥類目録改訂第7版」(平成24年、日本鳥学会)に準拠した。

資料:「日本産鳥類の繁殖分布(第2回自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)

動物分布調査(鳥類)報告書」(昭和56年、環境庁)

【両生類・爬虫類】

「第2回自然環境保全基礎調査 愛知県動植物分布図」、「レッドデータブックあいち2009」及び「レッドデータブックなごや」に掲載された種のうち生息が確認された種は、図4-2-1-20及び表4-2-1-76に示すとおりである。確認された種は、文化財保護法に基づく特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオの1種、愛知県の指定希少野生動植物種に指定されているナガレタゴガエルの1種、「環境省レッドリスト」掲載種の8種、「レッドデータブックあいち2009」掲載種の11種、「レッドデータブックなごや」掲載種の6種となっている。

表 4-2-1-76 生息が確認された両生・爬虫類

	目名	科名	種名	選定基準					
				①	②	③	④	⑤	⑥
両生類	サンショウウオ目	サンショウウオ科	カスミサンショウウオ				VU	EN	
			トウキョウサンショウウオ				VU		
			ヒダサンショウウオ				NT		
			コガタブチサンショウウオ				NT	DD	
			オオサンショウウオ	特天			VU		
	カエル目	アカガエル科	アカハライモリ				NT	DD	CR
			ナガレタゴガエル			○		CR	
			ヤマアカガエル					DD	
			ナゴヤダルマガエル				EN	VU	CR
		ツチガエル					DD	EN	
アオガエル科	カジカガエル					NT			
爬虫類	カメ目	スッポン科	ニホンスッポン				DD	DD	VU
	トカゲ目	ヘビ科	タカチホヘビ					DD	
			シロマダラ					DD	VU
			ヤマカガシ						NT
—	4目	6科	15種	1種	0種	1種	8種	11種	6種

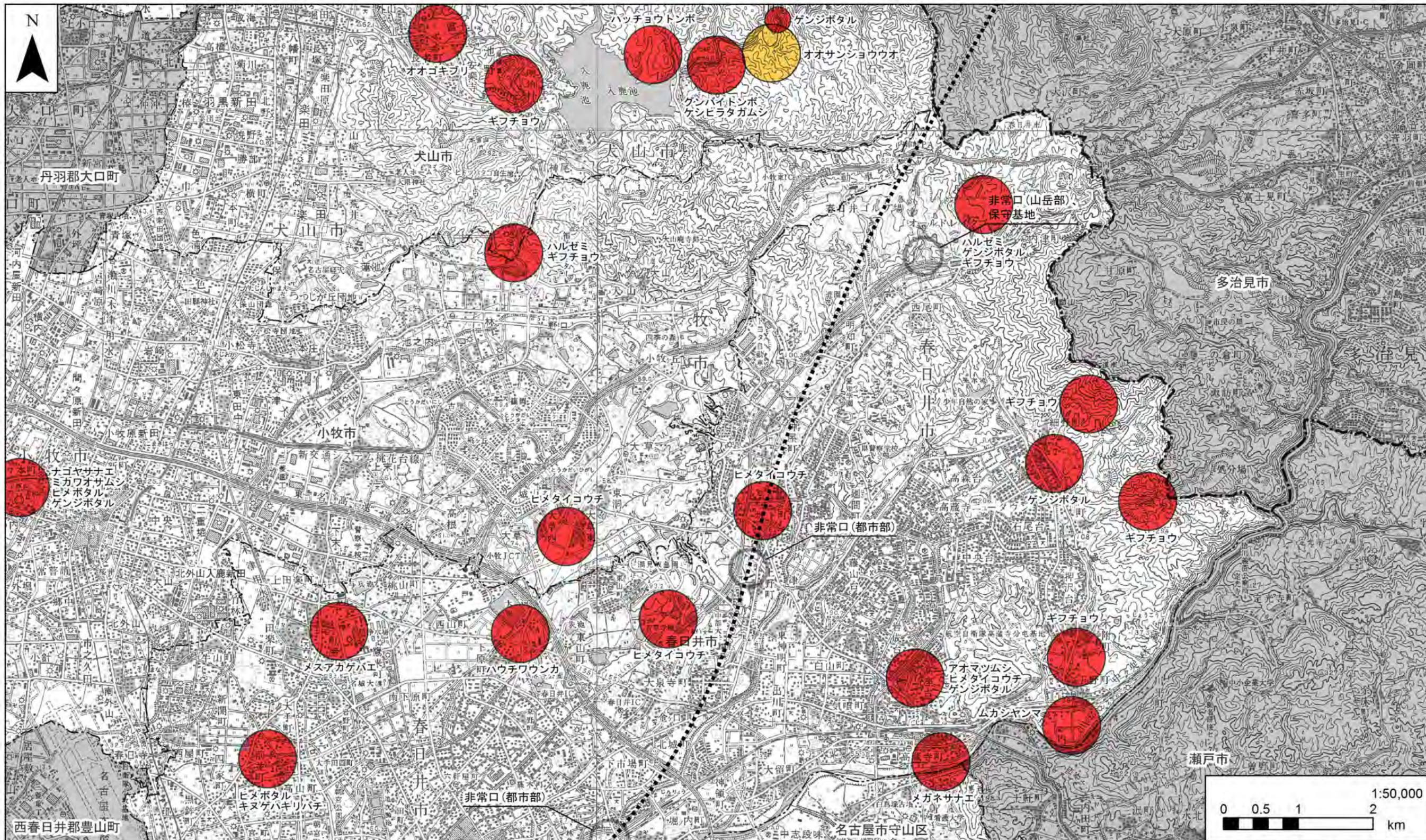
注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ① 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に定められた種(特天:特別天然記念物、天:天然記念物)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
- ③ 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」(昭和48年愛知県条例第3号)において指定希少野生動植物種に指定された種
- ④ 「環境省レッドリスト」(平成19年、環境省発表)に掲載されている種  
EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
- ⑤ 「レッドデータブックあいち2009」に掲載されている種  
EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ 「レッドデータブックなごや」に掲載されている種  
CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

注2. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

注3. 分類、配列などは、原則として「日本産爬虫両生類標準和名」(平成24年、日本爬虫両棲類学会)に準拠した。

資料:「第2回自然環境保全基礎調査 愛知県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)  
「レッドデータブックあいち2009」(平成21年3月、愛知県環境部)  
「レッドデータブックなごや2004」(平成16年3月、名古屋市環境局)  
「レッドデータブックなごや2010-2004年版補遺-」(平成22年10月、名古屋市環境局)



凡例

..... 計画路線（トンネル部）    - - - 県境    - - - - 市区町村境

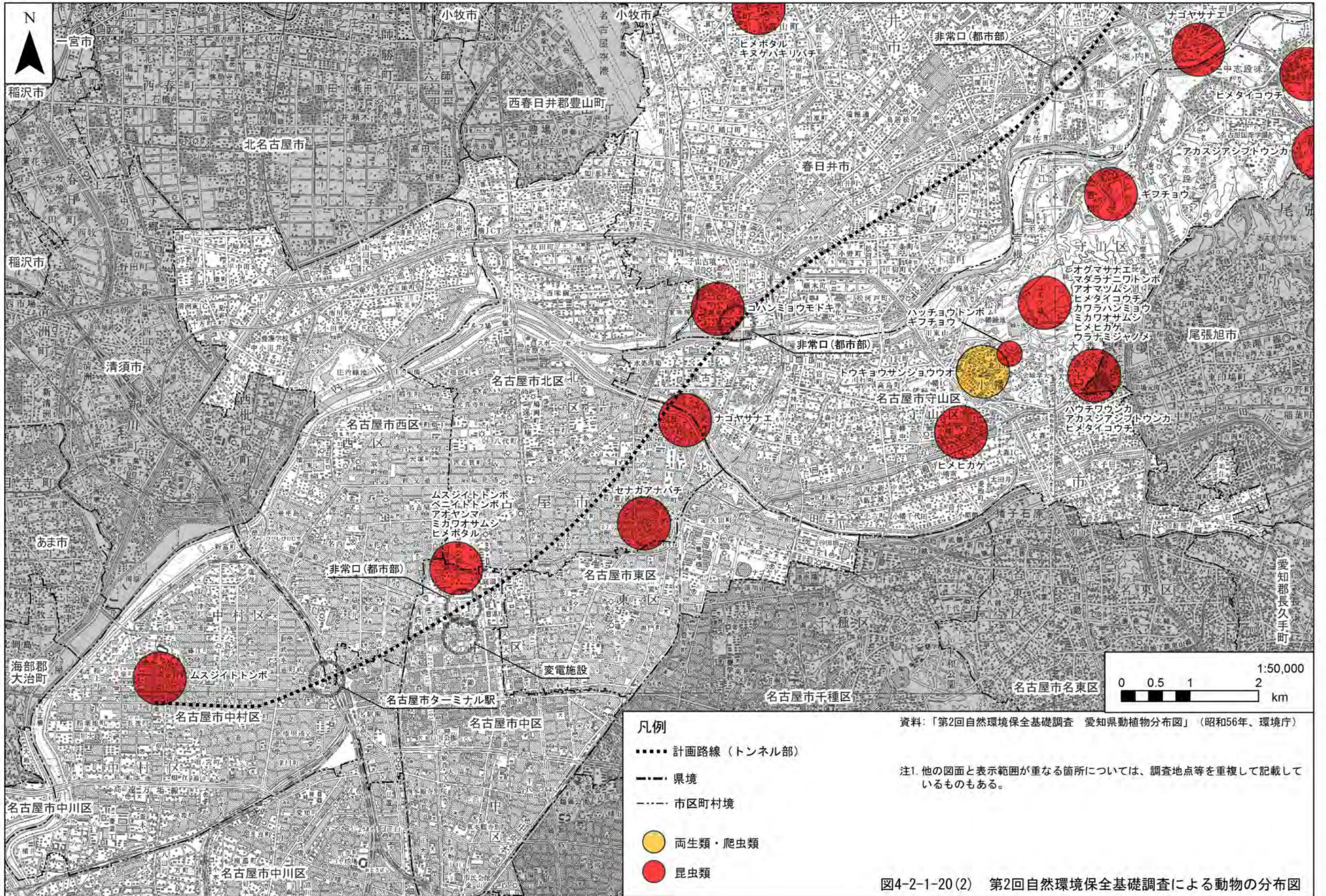
● 両生類・爬虫類

● 昆虫類

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 愛知県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

図4-2-1-20(1) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



## 【昆虫類】

「第2回自然環境保全基礎調査 愛知県動植物分布図」、「レッドデータブックあいち2009」及び「レッドデータブックなごや」に掲載された種のうち生息が確認された種は、図 4-2-1-20 及び表 4-2-1-77 に示すとおりである。確認された種は、愛知県の指定希少野生動植物種に指定されているヒメヒカゲの1種、指標昆虫類の7種、特定昆虫類の30種、「環境省レッドリスト」掲載種の57種、「レッドデータブックあいち2009」掲載種の67種、「レッドデータブックなごや」掲載種の103種となっている。

表 4-2-1-77(1) 生息が確認された昆虫類

目名	科名	種名	選定基準							
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
トンボ目	イトトンボ科	ムスジイトトンボ				G			NT	
		オオイトトンボ						VU	NT	
		ベニイトトンボ				G	VU	VU	CR	
		ヒヌマイイトトンボ					CR+EN	EN		
		モートンイトトンボ					NT	NT	NT	
	モノサシトンボ科	グンバイトンボ				B	NT	EN		
	アオイトトンボ科	コバナアオイトトンボ					CR+EN	CR		
	ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ				指			CR	
	サナエトンボ科	キイロサナエ							NT	EN
		ホンサナエ								EN
		ナゴヤサナエ				B	NT	NT	NT	NT
		メガネサナエ				B	NT	NT	NT	NT
		フタスジサナエ					NT	VU	VU	VU
		オグマサナエ				C	VU	VU	VU	VU
	ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ						NT	VU	VU
		アオヤンマ				G			VU	VU
		マルタンヤンマ								VU
		コシボソヤンマ								NT
		カトリヤンマ								NT
		サラサヤンマ								NT
		ヤブヤンマ								NT
	エゾトンボ科	トラフトンボ							NT	NT
		キイロヤマトンボ						NT	NT	CR
		ハネビロエゾトンボ						VU	VU	DD
		エゾトンボ							EN	DD
	トンボ科	ベッコウトンボ				B	CR+EN	CR	CR	CR
		ハッチョウトンボ				指				NT
キトンボ								EN	NT	
マダラナニワトンボ					C	CR+EN	EN			
オオキトンボ					G	CR+EN	CR	CR	CR	
ゴキブリ目	オオゴキブリ科	オオゴキブリ				D		DD		
カマキリ目	カマキリ科	ヒナカマキリ						NT		
	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ							NT	
バッタ目	コロギス科	ハネナシコロギス							NT	
		コロギス							NT	
	マツムシ科	アオマツムシ				B				
	アリツカコオロギ科	アリツカコオロギ							DD	
	バッタ科	キリギリス科	タイワンクツワムシ				B・C			
		ヤマトマダラバッタ							VU	
		セグロイナゴ								NT
		ハネナガイナゴ								NT
ヤマトフキバッタ								NT		
ヒシバッタ科	ギフヒシバッタ							DD		
ナナフシ目	ナナフシ科	トゲナナフシ							NT	
カメムシ目	グンバイウンカ科	ハウチワウンカ				B・C・D	NT		NT	
	マルウンカ科	アカジマアシブトウンカ						NT	EN	
	アシブトウンカ科	アカスジアシブトウンカ				A・D				
	セミ科	ニイニイゼミ								NT
		ハルゼミ					指			NT
		チッチゼミ								VU
イトアメンボ科	イトアメンボ					VU	VU			
カタビロアメンボ科	オヨギカタビロアメンボ					VU				

表 4-2-1-77(2) 生息が確認された昆虫類

目名	科名	種名	選定基準						
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
カメムシ目	アメンボ科	オオアメンボ						NT	
		エサキアメンボ					NT	NT	EN
	コオイムシ科	コオイムシ					NT		DD
		タガメ				指	VU	EN	
	タイコウチ科	タイコウチ							NT
		ヒメタイコウチ				B・D		NT	VU
		ミズカマキリ							NT
	ミズムシ科	ホッケミズムシ					NT	DD	
	コバンムシ科	コバンムシ					VU	CR	CR
	ナベブタムシ科	トゲナベブタムシ					VU		
ナベブタムシ							NT		
ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ					NT		DD	
コウチュウ目	ナガヒラタムシ科	ナガヒラタムシ							NT
	カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ						NT	CR
	ハンミョウ科	ホソハンミョウ					NT	VU	EN
		カワラハンミョウ				D	VU	CR	
	オサムシ科	ミカワオサムシ				B・G			
		セアカオサムシ						VU	
		キベリマルクビゴミムシ					NT	CR	CR
		フタモンマルクビゴミムシ					NT	CR	CR
		コハンミョウモドキ				C	VU	EN	
		オオヒョウタンゴミムシ				B・D	NT		VU
		キバネキバナガ							
		ミズギワゴミムシ				B	NT	NT	
		ヒトツメアオゴミムシ						VU	
		クビナガキベリ						VU	
	アオゴミムシ								
	コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ						NT	
		ヒメコガシラミズムシ						NT	
	コツブゲンゴロウ科	ムツボシツヤ						NT	
		コツブゲンゴロウ							
	ゲンゴロウ科	コクロマメゲンゴロウ							CR
		トダセスジゲンゴロウ					NT	NT	DD
		ゲンゴロウ					NT	EN	
		コガタノゲンゴロウ					CR+EN		
		シャープゲンゴロウモドキ					CR+EN		
		マルガタゲンゴロウ					NT	CR	
		シマゲンゴロウ						NT	VU
		スジゲンゴロウ					CR+EN		
マダラシマゲンゴロウ						CR+EN			
ミズスマシ科	オオミズスマシ							NT	
	コオナガミズスマシ						NT	VU	
ホソガムシ科	ヤマトホソガムシ							NT	
ガムシ科	ヒメシジミガムシ							DD	
	ガムシ							VU	
	ケシヒラタガムシ				D				
エンマムシ科	ヤマトエンマムシ							NT	
シデムシ科	ヤマトモンシデムシ					NT	VU	VU	
クワガタムシ科	マダラクワガタ							DD	
	ネプトクワガタ							NT	
	オオクワガタ					VU	CR	CR	
	ヒラタクワガタ							NT	

表 4-2-1-77(3) 生息が確認された昆虫類

目名	科名	種名	選定基準							
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
コウ チュウ目	コガネムシ科	ミツノエンマコガネ								DD
		アカマダラコガネ								VU
		アカマダラハナムグリ						DD		
		コカブトムシ								NT
	タマムシ科	タマムシ								NT
		クロマダラタマムシ							VU	EN
	ホタル科	ヒメボタル				D				NT
		ゲンジボタル				指				EN
		ヘイケボタル								EN
	カッコウムシ科	ヤマトヒメメダカ								
		カッコウムシ								DD
	ツチハンミョウ科	マメハンミョウ								EN
	カミキリムシ科	ケブカマルクビカミキリ							NT	
		ヨツボシカミキリ						VU	EN	CR
		クワカミキリ								NT
オオシロカミキリ									CR	
ハムシ科	カツラネクイハムシ							VU		
	キオビクビボソハムシ								DD	
ハチ目	コマユバチ科	ウマノオバチ						NT		
	アナバチ科	セナガアナバチ				C				
		ニッポンハナダカバチ						NT		
ハキリバチ科	キヌゲハキリバチ				C					
ハエ目	ケバエ科	メスアカケバエ				B				
チョウ目	セセリチョウ科	ミヤマセセリ								EN
		ミヤマチャバネセセリ						EN	CR	
		オオチャバネセセリ								VU
		チャマダラセセリ						CR+EN		
		コチャバネセセリ								NT
	アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ								EN
		ギフチョウ				指	VU	NT	CR	
	シロチョウ科	ツマグロキチョウ						VU		EN
		スジボソヤマキチョウ							EN	
		スジグロシロチョウ								NT
	シジミチョウ科	ウラゴマダラシジミ								NT
		ウラクロシジミ								VU
		アカシジミ								NT
		ウラナミアカシジミ								NT
		ゴマシジミ						VU		
		ミドリシジミ								NT
		ヒメシジミ							NT	
	シルビアシジミ							CR+EN		
	タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン						NT	NT	EN
		ウラギンヒョウモン								CR
		アサマイチモンジ								NT
		ヒョウモンモドキ					E	CR+EN		
		ヒオドシチョウ								NT
		オオムラサキ					指	NT	NT	
	ジャノメチョウ科	ヒメヒカゲ			○	B	CR+EN	CR		
クロヒカゲモドキ							VU			
ヒカゲチョウ									NT	
ジャノメチョウ									EN	
ウラナミジャノメ					B	VU	VU		CR	

表 4-2-1-77(4) 生息が確認された昆虫類

目名	科名	種名	選定基準						
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
チョウ目	ヤガ科	マダラウスズミケンモン						DD	
		ウスベニキョトウ				C			
		アトジロキリガ							NT
		トビイロアカガネヨトウ							NT
		コシロシタバ							NT
		トウカイツマキリアツバ							DD
10 目	62 科	158 種	0 種	0 種	1 種	37 種	57 種	67 種	103 種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ①「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）に定められた種（特天：特別天然記念物、天：天然記念物）
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成4年法律第75号）に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
- ③「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（昭和48年愛知県条例第3号）において指定希少野生動植物種に指定された種
- ④「第2回自然環境保全基礎調査 愛知県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）に掲載されている種  
指：指標昆虫類  
（以下、特定昆虫類の選定基準）  
A：日本国内ではそこにしか産しないと思われる種  
B：分布域が国内若干の地域に限定されている種  
C：普通種であっても、北限・南限など分布限界になるとと思われる産地に分布する種  
D：当該地域において絶滅の危機に瀕している種  
E：近年当該地域において絶滅したと考えられる種  
F：業者あるいはマニアなどの乱獲により、当該地域での個体数の著しい減少が心配される種  
G：環境指標として適当であると考えられる種
- ⑤「環境省レッドリスト」（平成19年、環境省発表）に掲載されている種  
EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
- ⑥「レッドデータブックあいち2009」に掲載されている種  
EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：地域個体群
- ⑦「レッドデータブックなごや」に掲載されている種  
CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

注2. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

注3. 分類、配列などは、原則として「日本産野生生物目録 無脊椎動物編II」（平成4年、環境庁）に準拠した。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 愛知県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）  
「レッドデータブックあいち2009」（平成21年3月、愛知県環境部）  
「レッドデータブックなごや2004」（平成16年3月、名古屋市環境局）  
「レッドデータブックなごや2010 -2004年版補遺-」（平成22年10月、名古屋市環境局）

## 【魚 類】

「第2回自然環境保全基礎調査 愛知県動植物分布図」、「レッドデータブックあいち2009」及び「レッドデータブックなごや」に掲載された種のうち生息が確認された種は、表 4-2-1-78 に示すとおりである。なお、「第2回自然環境保全基礎調査 愛知県動植物分布図」では対象事業実施区域及びその周囲に魚類の掲載はなかった。確認された種は、愛知県の指定希少野生動植物種に指定されているウシモツゴの1種、「環境省レッドリスト」掲載種の13種、「レッドデータブックあいち2009」掲載種の10種、「レッドデータブックなごや」掲載種の19種となっている。

表 4-2-1-78 生息が確認された魚類

目名	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④	⑤	⑥
ヤツメ ウナギ目	ヤツメ ウナギ科	スナヤツメ				VU	VU	CR
ウナギ目	ウナギ科	ウナギ				DD		NT
サケ目	サケ科	サツキマス				NT		EN
	アユ科	アユ				CR		NT
コイ目	コイ科	ゼゼラ						VU
		ウシモツゴ			○	CR	CR	
		ヤリタナゴ				NT	NT	VU
		イチモンジタナゴ				CR	VU	EN
	ドジョウ科	スジシマドジョウ小型種東海型				EN	NT	CR
		シマドジョウ						EN
		ホトケドジョウ				EN	VU	EN
ナマズ目	ナマズ科	ナマズ						NT
	アカザ科	アカザ				VU	NT	EN
ダツ目	メダカ科	メダカ				VU	NT	VU
カサゴ目	カジカ科	ウツセミカジカ (カジカ小卵型)				VU		EN
		カマキリ (アユカケ)				VU	VU	EN
スズキ目	ハゼ科	カワアナゴ						VU
		ドンコ					NT	EN
		チチブ						VU
		ウキゴリ						VU
8 目	11 科	20 種	0 種	0 種	1 種	13 種	10 種	19 種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ① 「文化財保護法」 (昭和25年法律第214号) に定められた種 (特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (種の保存法)」 (平成4年、法律第75号) に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
- ③ 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」 (昭和48年愛知県条例第3号) において指定希少野生動植物種に指定された種
- ④ 「環境省レッドリスト」 (平成19年、環境省発表) に掲載されている種  
EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- ⑤ 「レッドデータブックあいち2009」に掲載されている種  
EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ 「レッドデータブックなごや」に掲載されている種  
CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足

注2. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

注3. 分類、配列などは、原則として「河川水辺の国勢調査 最新版 平成24年度版生物リスト」 (平成24年、リバーフロント研究所) に準拠した。

資料: 「レッドデータブックなごや2004」 (平成16年3月、名古屋市環境局)

「レッドデータブックなごや2010 -2004年版補遺-」 (平成22年10月、名古屋市環境局)

## 2) 植 物

### ア. 重要な種及び群落の状況

愛知県の「平成 24 年版 環境白書」によると、愛知県の植生は潜在的にはほとんどが照葉林帯に属しているが、平野部では土地利用が進み、自然植生は社寺林等一部にしか残っていない。一方、丘陵から山地部の多くの部分はスギ及びヒノキの人工林が多く見られるが、丘陵部を中心にコナラ、アベマキ等を主体とする二次的植生の森林地域も広くみられ、里山を形成している。

「レッドデータブックあいち 2009」によると、愛知県は中部山岳地帯の南端に位置し、木曾山脈の中心部まで山続きとなっているほか、天竜川をはさんで赤石山脈南部とも接しているため、温帯性植物や東日本系の植物が見られる。一方、渥美半島は温暖な地であり、豊川の谷も冬季の季節風が入らないため温暖で、暖地性の植物が生育している。また、本州脊梁山脈の切れ目に当たる関ヶ原にも近いいため、日本海系の植物もいくつか生育している。地質的には、濃尾平野の木曾三川下流部の三角州地帯では低湿地性の植物が、三河湾の塩湿地では塩湿地性の植物が見られるほか、東三河のチャートや流紋岩、石灰岩の岩山、蛇紋岩地の非森林性の植物が多く見られる。そのため、愛知県に生育する維管束植物は約 2,220 種と日本に本来自生する維管束植物（約 7,000 種）の約 3 割が自生している。このうち、準絶滅危惧種以上のカテゴリに含まれる種は、絶滅はミズスギナ等の 42 種、絶滅危惧 IA 類はハナノキ等の 58 種、絶滅危惧 IB 類はトキシウ等の 163 種、絶滅危惧 II 類はミクリ等の 200 種、準絶滅危惧はエビネ等 124 種の計 587 種である。

対象事業実施区域及びその周囲の植生は図 4-2-1-21 に示すとおりであり、春日井市の山地から丘陵地と春日井市及び名古屋市の平野部に大別される。春日井市の山地から丘陵地は対象事業実施区域北東側の一部であり、スギ・ヒノキ・サワラ植林、モチツツジ・アカマツ群落及びゴルフ場の占める割合が高く、谷部に水田雑草群落、畑地雑草群落及び落葉果樹園が存在する。また、ため池と考えられる開放水域が点在する。それ以外の対象事業実施区域は春日井市及び名古屋市の平野部であり、市街地の中に水田雑草群落、畑地雑草群落、落葉果樹園等が散在する。

対象事業実施区域及びその周囲の天然記念物等の指定状況は、図 4-2-1-22 及び表 4-2-1-79 に示すとおりであり、国指定 2 件、県指定 2 件、市指定 4 件の天然記念物が存在する。

対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林の存在状況は、図 4-2-1-22 及び表 4-2-1-80 に示すとおりであり、47 の巨樹・巨木林が存在する。

対象事業実施区域及びその周囲の特定植物群落の存在状況は、図 4-2-1-22 及び表 4-2-1-81 に示すとおりであり、5 つの特定植物群落が存在する。

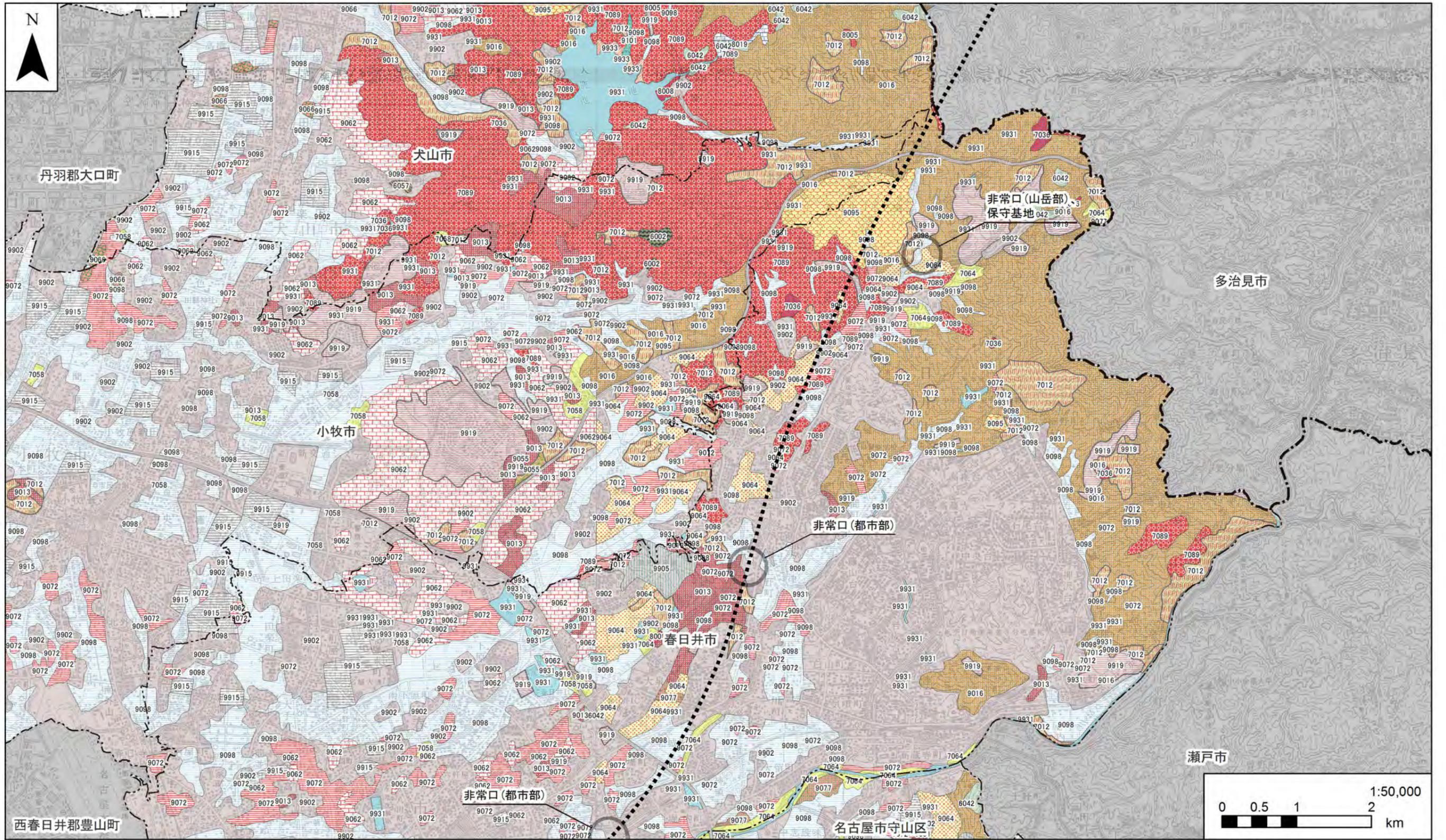
「レッドデータブックあいち 2009」、「レッドデータブックなごや 2004」及び「レッドデータブックなごや 2010-2004 年版補遺」に掲載された種のうち生育が確認された種は、表 4-2-1-82 に示すとおりである。なお、「レッドデータブックあいち 2009」については、全メッシュのうち対象事業実施区域を含むメッシュの範囲、「レッドデータブックなごや」については、対象事業実施区域を含む周辺区の範囲を整理した。

確認された種は、愛知県の指定希少野生動植物種に指定されている4種、「環境省レッドリスト」掲載種の141種、「レッドデータブックあいち2009」掲載種の160種、「レッドデータブックなごや」掲載種の174種となっている。

**表 4-2-1-79 天然記念物（植物）の指定状況**

種別	名称	所在地	指定年月日
国指定	ヒトツバタゴ自生地	犬山市字西洞 41	大正 12 年 3 月 7 日
	名古屋城のカヤ	名古屋市中区本丸 1 番 (名古屋城内)	昭和 7 年 7 月 25 日
県指定	岩崎清流亭の藤	小牧市岩崎 148	昭和 36 年 3 月 30 日
	大草のマメナシ自生地	小牧市大字大草字太良 1 番の一部外	平成 23 年 8 月 26 日
市指定	小牧小学校校庭のクロマツ	小牧市小牧三丁目 1	平成 10 年 3 月 27 日
	貴船神社のアベマキ	小牧市大字上末 2993 番地	平成 22 年 3 月 29 日
	築水池のシデコブシ自生地	春日井市廻間町 1102-1	平成 15 年 3 月 24 日
	大乃伎神社のボダイジュ	名古屋市西区大野木 2-233	昭和 53 年 12 月 13 日

資料：「国指定文化財・県指定文化財」（平成25年6月現在、犬山市ホームページ）  
「指定文化財一覧」（平成25年6月現在、小牧市ホームページ）  
「市内の文化財」（平成25年6月現在、春日井市ホームページ）  
「指定文化財等目録一覧」（平成25年6月現在、名古屋市ホームページ）



凡例					
.....	計画路線 (トンネル部)	6002 モミシキミ群集	7058 ネザサースキ群集	8023 オギ群集	9066 桑園
---	県境	6039 ケヤキイロハモミジ群集	7064 チガヤースキ群落	9013 クロマツ植林	9072 畑地雑草群落
---	市区町村境	6042 アラクシ群落	7089 モチツツジアカマツ群集	9016 スギ・ヒノキ・サワラ植林	9077 ヒメムカシヨモギ オアレチノギク群落
		6057 サカキコジイ群集	8005 ヌマガヤオーダー	9055 竹林	9095 ゴルフ場
		7012 コナラクワ群落	8008 ヨシクラス	9062 常緑果樹園	9098 水田雑草群落
		7036 伐跡群落	8019 ツルヨシ群集	9064 落葉果樹園	9101 休耕田雑草群落
				9098 水田雑草群落	9902 市街地
				9905 緑の多い住宅地	9915 工場地帯
				9919 造成地	9931 開放水域
				9933 自然裸地	

資料:「環境省自然環境保全基礎調査 自然環境情報GISデータ (第2~5回植生調査重ね合わせ植生)」(環境省自然環境局生物多様性センター)

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

図4-2-1-21(1) 現存植生図

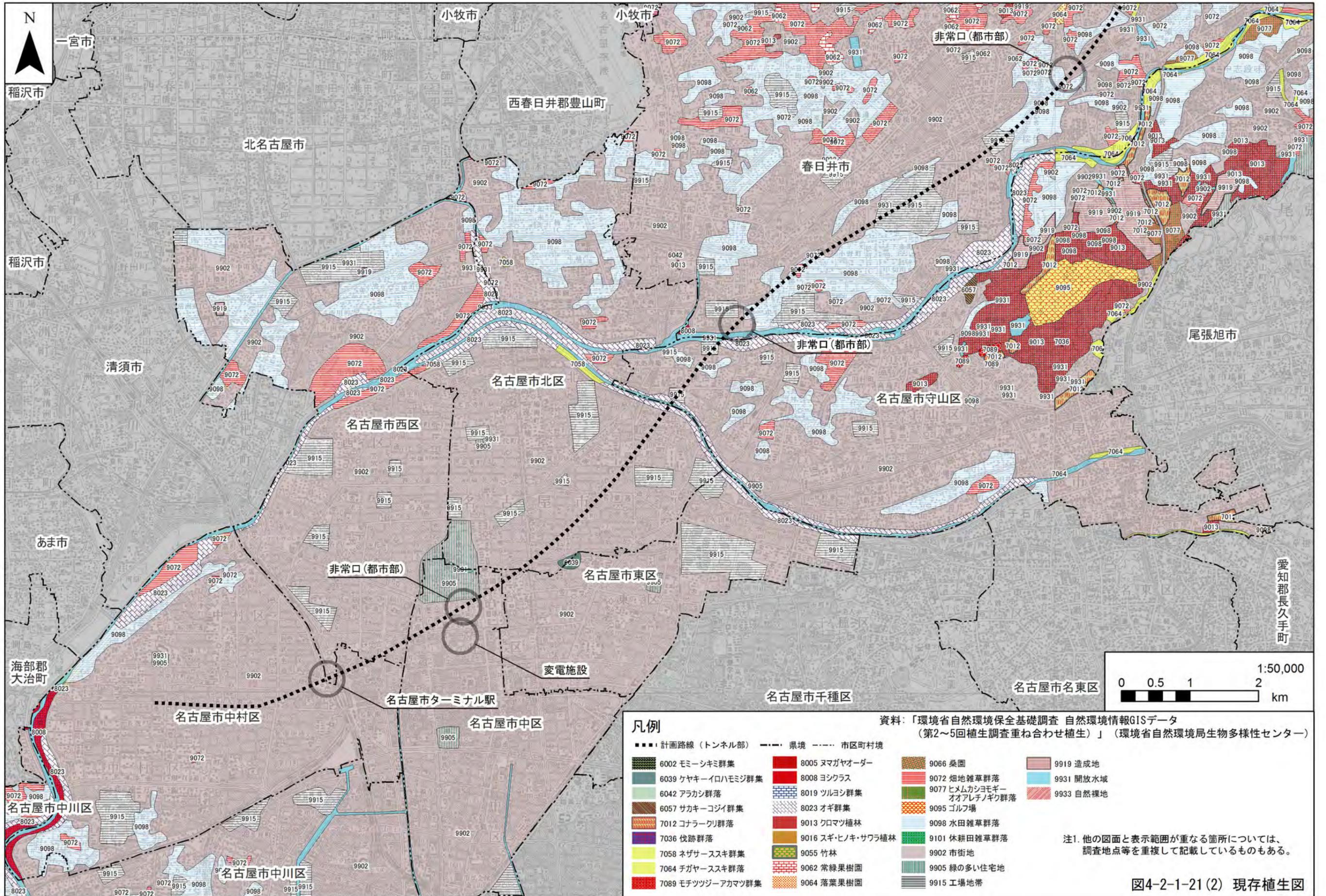


図4-2-1-21(2) 現存植生図



凡例

..... 計画路線（トンネル部）    - - - 県境    - - - - 市区町村境

■ 特定植物群落 生育地域

● 巨樹・巨木 分布地点

● 天然記念物（植物）

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「国指定文化財・県指定文化財」（平成25年6月現在、犬山市ホームページ）

「指定文化財一覧」（平成25年6月現在、小牧市ホームページ）

「市内の文化財」（平成25年6月現在、春日井市ホームページ）

「指定文化財等目録一覧」（平成25年6月現在、名古屋市ホームページ）

「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）」（平成3年、環境庁）

「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）」（昭和55年、環境庁）

「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）」（昭和63年、環境庁）

「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）

図4-2-1-22(1) 重要な植物等の分布図

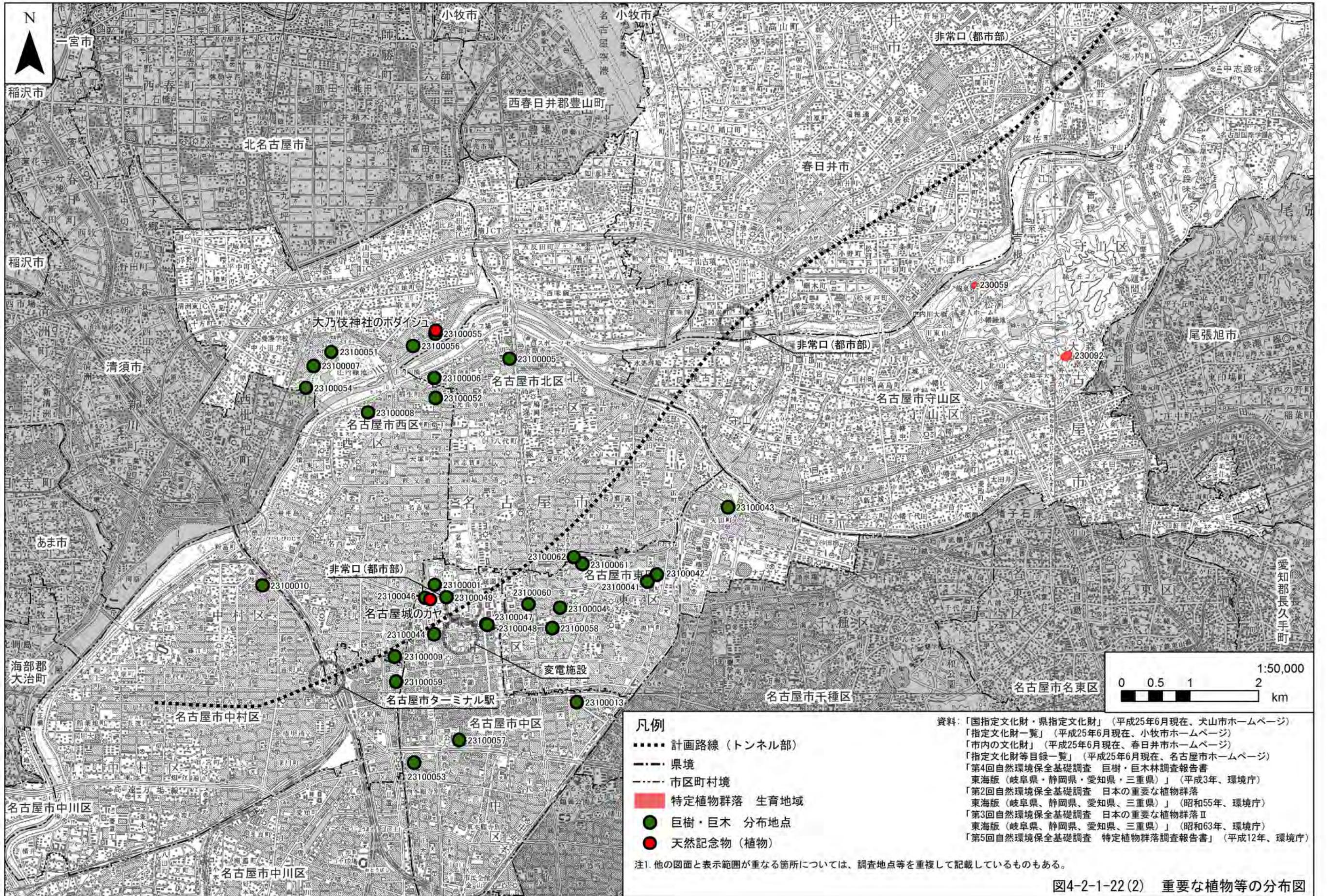


図4-2-1-22(2) 重要な植物等の分布図

表 4-2-1-80 巨樹・巨木林の存在状況

No.	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周 (cm)	樹高 (m)
23219005	小牧市 神明社	200~299	クスノキ	375	15
23219006	小牧市 知恵之天神社	200~299	スダジイ	300	15
23219007	小牧市 外山神社	200~299	ムクノキ	306	14
23219008	小牧市 神明社	200~299	アベマキ	310	9
23219009	小牧市 貴船社	200~299	アベマキ	403	20
23215001	犬山市 大県社	200~299	スギ	355	18
23206001	春日井市	200~299	ツブラジイ	561	12
23206002	春日井市	200~299	ツブラジイ	480	11.5
23206003	春日井市	100~199	ツブラジイ	317	17.5
23206004	春日井市	200~299	クスノキ	350	17
23206005	春日井市	200~299	クスノキ	322	15.5
23206006	春日井市	100~199	ツブラジイ	392	16.5
23206007	春日井市	100~199	イチョウ	440	10.5
23206008	春日井市	99 以下	ヤマザクラ	302	13
23206009	春日井市	200~299	アラカシ	483	18
23206010	春日井市	200~299	イチョウ	369	17.5
23206011	春日井市 白山神社付近	200~299	ケヤキ	432	17
23100001	名古屋市 名古屋城	300 以上	カヤ	810	15
23100004	名古屋市	300 以上	ムクノキ	542	25
23100005	名古屋市 天神社	300 以上	エノキ	310	18
23100006	名古屋市 聖徳寺	300 以上	ムクノキ	300	16
23100007	名古屋市 五所社	—	クスノキ	320	21
23100008	名古屋市 新福寺	300 以上	シイノキ	358	17
23100009	名古屋市 浅間神社	100~199	イチョウ	306	20
23100010	名古屋市 六生社	200~299	クロガネモチ	304	15
23100013	名古屋市 乾徳寺	300 以上	クスノキ	324	15
23100041	名古屋市 葵公園	300 以上	クスノキ	350	18
23100042	名古屋市 葵公園	300 以上	シイノキ	450	8
23100043	名古屋市 長母寺	300 以上	シイノキ	440	14
23100044	名古屋市 金明竜神社	300 以上	ムクノキ	525	24
23100046	名古屋市	300 以上	イチョウ	500	25
23100047	名古屋市 三の丸土塁	不明	ヤマザクラ	410	15
23100048	名古屋市 三の丸	不明	クスノキ	320	20
23100049	名古屋市 婦人文化会館	不明	ムクノキ	360	15
23100051	名古屋市 星神社	300 以上	ムクノキ	400	18
23100052	名古屋市 伊奴神社	300 以上	ツブラジイ	308	12
23100053	名古屋市 聖運寺	300 以上	イチョウ	445	23
23100054	名古屋市 床内川右岸	300 以上	エノキ	301	16
23100055	名古屋市 大野伎神社	300 以上	ムクノキ	370	18
23100056	名古屋市 床内川右岸堤	300 以上	イチョウ	338	16
23100057	名古屋市 白川公園	300 以上	クスノキ	303	22
23100058	名古屋市 松山神社	300 以上	イチョウ	302	17.5
23100059	名古屋市 泥江県神社	300 以上	イチョウ	303	19
23100060	名古屋市 国道 41 号	300 以上	クスノキ	329	20.5
23100061	名古屋市 市立工芸高等学校	300 以上	イチョウ	329	15.5
23100062	名古屋市 尼ヶ坂公園	300 以上	クスノキ	395	18.5
23100062	名古屋市 尼ヶ坂公園	300 以上	ムクノキ	393	18

注1. 表中の所在地については、資料図書をそのまま記載している。

資料：「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版  
(岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)」(平成3年、環境庁)

表 4-2-1-81 特定植物群落の存在状況

No.	名称	所在地	指定状況			保護の現状
			第2回	第3回	第5回	
230035	小牧大山の照葉樹林	小牧市大字大山 (小牧市大山)	A, E	A, E	A, E	愛知県自然環境保全地域 国指定史跡 (大山廃寺塔趾)
230058	犬山ヒトツバタゴの自生地	犬山市池野町	B	B	B	国指定天然記念物
230091	オグラコウホネ群落	犬山市			B, C	
230059	竜泉寺のコジイ林	名古屋市守山区	A, E		A, E	
230092	御津神社社叢	名古屋市守山区			E	

注1. 表中の所在地については資料図書をそのまま記載している。なお、現在の地名を（ ）内に記載した。

注2. 指定状況の記号は選定基準を示す。

<選定基準>

- A: 原生林もしくはそれに近い自然林
- B: 国内若干地域に分布するが、極めて希な植物群落又は個体群
- C: 比較的普通に見られるものであっても、南限・北限・隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落又は個体群
- D: 砂丘・断崖地・塩沼地・湖沼・河川・湿地・高山・石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落又は個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
- E: 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
- F: 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの
- G: 乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群
- H: その他、学術上重要な植物群落又は個体群

資料: 「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版  
(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)」(昭和55年、環境庁)  
「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版  
(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)」(昭和63年、環境庁)  
「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」  
(平成12年、環境庁)

表 4-2-1-82(1) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
マツバラ科	マツバラ				NT		
ヒカゲノカズラ科	アスヒカズラ					VU	
	スギラン				VU		
	ヤチスギラン					VU	
ミズニラ科	ミズニラ				NT	NT	
ハナヤスリ科	ヒロハハナヤスリ					VU	
キジノオシダ科	タカサゴキジノオ					VU	
	ヤマソテツ					NT	
コケシノブ科	ウチワゴケ						VU
	ミカワコケシノブ				EN		
コバノイシカグマ科	イシカグマ					NT	
シシラン科	タキミシダ				EN		
チャセンシダ科	カミガモシダ					EN	
	トキワトラノオ						NT
	オクタマシダ				VU	VU	
	チャセンシダ						VU
シシガシラ科	コモチシダ						VU
オシダ科	タカサゴシダ					EN	
	ヌカイタチシダ					NT	
	ワカナシダ					VU	
	オワセベニシダ					VU	
	タニヘゴ						NT
ヒメシダ科	ツクシヤワラシダ					VU	CR
メシダ科	ウスヒメワラビ						EN
	ミヤマシケシダ					NT	
	ウスバシケシダ				VU	VU	VU
	シロヤマシダ						EN
	ウスバミヤマノコギリシダ					VU	
ウラボシ科	クラガリシダ				EN		
	イワオモダカ					VU	
ヒメウラボシ科	オオクボシダ					NT	
デンジソウ科	デンジソウ				VU	EN	
サンショウモ科	サンショウモ				NT	EN	
アカウキクサ科	アカウキクサ				VU		
	オオアカウキクサ				VU	EN	
イチイ科	カヤ						CR
ヤナギ科	キヌヤナギ					NT	VU
カバノキ科	カワラハンノキ						VU
	サクラバハンノキ				NT		NT
ブナ科	フモトミズナラ					NT	
	モンゴリナラ						VU
	ウラジロガシ						VU
イラクサ科	ミヤコミズ				VU	CR	
タデ科	ウナギツカミ						VU
	ヒメタデ				VU		
	ホソバイヌタデ				NT	VU	
	サイコクヌカボ				VU	NT	
	ナガバノウナギツカミ				NT	NT	EN
	コミゾソバ					NT	
	ヌカボタデ(コヌカボタデを含む)				VU		
	ヒメボントクタデ					NT	
	ノダイオウ				NT		
	コギシギシ				VU		

表 4-2-1-82(2) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
ナデシコ科	カワラナデシコ						NT
アカザ科	ハマアカザ					VU	
モクレン科	シデコブシ				NT	VU	EN
クスノキ科	カゴノキ						NT
	ニッケイ				NT		
	ダンコウバイ						CR
	ヒメクロモジ						NT
	シロダモ						
キンポウゲ科	スハマソウ				NT	NT	CR
	カザグルマ				NT	VU	CR
	ウマノアシガタ						VU
メギ科	ヘビノボラズ					NT	NT
	ヒメイカリソウ						CR
スイレン科	ジュンサイ						NT
	オニバス				VU		
	ヒメコウホネ				VU	EN	CR
マツモ科	マツモ						NT
ウマノスズクサ科	オオバウマノスズクサ						VU
	スズカカンアオイ						NT
ボタン科	ヤマシャクヤク				NT		
マタタビ科	マタタビ						VU
オトギリソウ科	サワオトギリ						VU
モウセンゴケ科	ナガバノイシモチソウ			○	VU		
	シロバナナガバノイシモチソウ			○		CR	
	イシモチソウ				NT	VU	EN
	モウセンゴケ						NT
アブラナ科	ミズタガラシ					NT	CR
	マルバタネツケバナ					VU	
	コイヌガラシ				NT		VU
マンサク科	ダンドミズキ				NT		
	マンサク						NT
ベンケイソウ科	ツメレンゲ				NT	NT	VU
ユキノシタ科	ミカワショウマ				VU	VU	
	キバナハナネコノメ				NT		
	コアジサイ						NT
	コガクウツギ					EN	CR
	ウメバチソウ						EN
	タコノアシ				NT		
	ヤブサンザシ					VU	EN
	ナメラダイモンジソウ					NT	
	イワガラミ						EN
バラ科	オオウラジロノキ						VU
	カワラサイコ					NT	EN
	エチゴツルキジムシロ					EN	
	ワタゲカマツカ						NT
	マメナシ				EN	CR	EN
マメ科	ホドイモ						VU
	カワラケツメイ						NT
	タヌキマメ						VU
	カラメドハギ						EN
	イヌハギ				NT	VU	CR
	マキエハギ						NT
	ビワコエビラフジ					EN	

表 4-2-1-82(3) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
トウダイグサ科	ハギクソウ			○	CR	CR	
	ヒトツバハギ						CR
ニガキ科	ニガキ						VU
カエデ科	カラコギカエデ					VU	
	ハナノキ				VU	CR	
モチノキ科	タマミズキ						VU
	ミヤマウメモドキ					VU	
アオイ科	ハマボウ					VU	
ジンチョウゲ科	ガンピ						VU
スマレ科	コタチツボスマレ					VU	
	ケイリュウタチツボスマレ						NT
	オオタチツボスマレ					EN	
	スマレサイシン					EN	
	アギスマレ						VU
ミソハギ科	ヒメミソハギ						EN
	ミズスギナ				EN		
	ミズキカシグサ				VU		
	ミズマツバ				VU		
ヒシ科	ヒメビシ				VU		
アカバナ科	ウスゲチョウジタデ				NT	EN	
アリノトウグサ科	オグラノフサモ				VU	VU	VU
	ホザキノフサモ						VU
	タチモ				NT	NT	EN
セリ科	ノダケ						VU
	エキサイゼリ				NT	CR	
	ムカゴニンジン						VU
イワウメ科	オオイワカガミ					VU	
イチヤクソウ科	シャクジョウソウ					NT	
	ギンリョウソウモドキ						VU
	イチヤクソウ						NT
ツツジ科	イワナシ					EN	
	ナガボナツハゼ			○	CR	CR	
サクラソウ科	ノジトラノオ				VU	CR	
	クサレダマ						NT
ハイノキ科	クロミノニシゴリ						NT
モクセイ科	ヒトツバタゴ				VU	EN	
リンドウ科	リンドウ						EN
	コケリンドウ					VU	
	イヌセンブリ				VU	NT	VU
ミツガシワ科	ガガブタ				NT	NT	NT
	アサザ				NT		
ガガイモ科	フナバラソウ				VU		
	クサナギオゴケ				VU	NT	
	スズサイコ				NT		EN
アカネ科	ホソバニセジュズネノキ						VU
	ナガバジュズネノキ					EN	
	キクムグラ					NT	EN
	ホソバノヨツバムグラ						VU
ヒルガオ科	ネナシカズラ						NT
ムラサキ科	ホタルカズラ					VU	
	ハイルリソウ				CR	EX	
	ミズタビラコ					NT	
クマツヅラ科	ヤブムラサキ						EN

表 4-2-1-82(4) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
シソ科	タチキランソウ				NT		
	ジュウニヒトエ					VU	
	ケブカツルカソウ				EN	EN	
	ミズネコノオ				NT	VU	EN
	ミズトラノオ				VU	VU	CR
	マネキグサ				NT		
	オドリコソウ						VU
	ハッカ						NT
	ヤマジソ				NT		
	ヤマハッカ						VU
	シマジタムラソウ				VU	NT	CR
	ミゾコウジュ				NT		NT
	オカタツナミソウ						EN
	タツナミソウ						VU
	シソバタツナミ						VU
	イガタツナミ						VU
	イヌゴマ						NT
ニガクサ						VU	
ナス科	ヤマホオズキ				EN	NT	
	マルバノホロシ						EN
ゴマノハグサ科	ゴマクサ				VU	VU	
	マルバノサワトウガラシ				VU		
	オオアブノメ				VU	NT	
	スズメノハコベ				VU	NT	
	ミカワシオガマ				EN	EN	
	オオヒキヨモギ				VU		
	イヌノフグリ				VU		VU
カワヂシャ				NT			
ハマウツボ科	ナンバンギセル						NT
	キヨスミウツボ					VU	
タヌキモ科	ノタヌキモ				VU	VU	
	ミミカキグサ						NT
	ホザキノミミカキグサ						NT
	フサタヌキモ				EN	EX	
	ミカワタヌキモ				VU	EN	
	コタヌキモ					EX	
	ヒメタヌキモ				NT	VU	
	ヒメミミカキグサ				EN	EN	
	イヌタヌキモ				NT		
ムラサキミミカキグサ				NT	NT	NT	
スイカズラ科	オオカメノキ						VU
キキョウ科	サワギキョウ						VU
	タニギキョウ						VU
	キキョウ				VU	NT	VU
キク科	ヌマダイコン						EN
	オクモミジハグマ						VU
	キッコウハグマ						VU
	カワラハハコ						VU
	カワラニンジン						NT
	ヒメシオン					VU	
	ウラギク				VU		
	オケラ						VU
シロバナタカアザミ					EN		

表 4-2-1-82(5) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
キク科	キセルアザミ						NT
	ワタムキアザミ				VU		
	フジバカマ				NT	EN	
	アキノハハコグサ				VU		
	ミズギク					NT	EN
	オグルマ						VU
	ムラサキニガナ						VU
	ミコシギク				VU		
	ヤマタバコ				CR	EX	
	カシワバハグマ						EN
	アオヤギバナ					VU	
オモダカ科	ヘラオモダカ						VU
	マルバオモダカ				VU	EN	
	アギナシ				NT		NT
トチカガミ科	セトヤナギスブタ				EN	EN	
	マルミスブタ				VU	EN	
	スブタ				VU	VU	
	トチカガミ				NT	EN	
	ミズオオバコ				VU		
ホロムイソウ科	シバナ				NT	NT	
ヒルムシロ科	ヒルムシロ					NT	NT
	ササバモ					VU	
	リュウノヒゲモ				NT		
	イトモ				NT	NT	
イバラモ科	ムサシモ				CR		
	サガミトリゲモ				VU	VU	
	イトトリゲモ				NT		NT
	オオトリゲモ					NT	VU
ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ				VU		
ユリ科	ヤマラッキョウ						NT
	キイイトラッキョウ				VU	VU	
	チゴユリ						VU
	カタクリ						CR
	ノカンゾウ						EN
	キスゲ						VU
	キヨスミギボウシ						VU
	コバギボウシ						VU
	ヤマユリ						CR
	ウバユリ						VU
	ササユリ						EN
	コオニユリ						CR
	サクライソウ				EN		
	ミヤマナルコユリ						EN
	イワショウブ					NT	
	アマナ						VU
	ミカワバイケイソウ				VU	EN	
ヤマノイモ科	ヒメドコロ						VU
ミズアオイ科	ミズアオイ				NT		
アヤメ科	ノハナショウブ						EN
ヒナノシヤクジョウ科	ヒナノシヤクジョウ					VU	CR
ホシクサ科	オオホシクサ					EN	
	ツクシクロイヌノヒゲ				VU	NT	EN
	シラタマホシクサ				VU	VU	VU

表 4-2-1-82(6) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準						
		①	②	③	④	⑤	⑥	
ホシクサ科	クロホシクサ				VU	VU	CR	
イネ科	ハネガヤ					EN		
	ミズタカモジ				VU	EN		
	ヒメコヌカグサ				NT		NT	
	ヒナザサ					VU		
	ヌマカゼクサ						VU	
	コゴメカゼクサ					VU		
	ウンヌケモドキ				NT	VU		
	ウンヌケ				NT	NT	VU	
	コウボウ						VU	
	トウササクサ					NT		
	ウキシバ					NT	VU	
	シダミコザサ					VU	VU	
	ナリヒラダケ					VU		
サトイモ科	スルガテンナンショウ						VU	
ミクリ科	ミクリ				NT	VU	EN	
	ヤマトミクリ				NT	NT	EN	
	ナガエミクリ				NT		VU	
	ヒメミクリ				VU			
	イトテンツキ				VU			
カヤツリグサ科	トダスゲ				EN	EX		
	ショウジョウスゲ						NT	
	ツクバスゲ						VU	
	ケタガネソウ						VU	
	ビロードスゲ						VU	
	オオタマツリスゲ					EN		
	ウマスゲ						VU	
	タカネマスクサ					VU		
	ホザキマスクサ				VU			
	ジングウスゲ				NT			
	センダイスゲ					VU	EN	
	アズマナルコ						EN	
	ニシノホンモンジスゲ					VU	VU	
	ヒメアオガヤツリ					EN		
	ヌマガヤツリ					NT		
	オオシロガヤツリ					EN		
	ヒメガヤツリ					VU	EN	
	セイタカハリイ					VU		
	トネテンツキ				VU	VU		
	オオイヌノハナヒゲ					VU		
	イガクサ						EN	
	マツカサススキ						EN	
	シズイ					VU		
	イセウキヤガラ						NT	
	ミカワシンジュガヤ				VU	VU	EN	
	ラン科	ヒナラン				EN		
		イワチドリ				EN	EN	
マメヅタラン					NT			
ムギラン					NT			
エビネ					NT	NT		
ナツエビネ					VU	VU		
ユウシュンラン					VU			
キンラン					VU	NT	CR	

表 4-2-1-82(7) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
ラン科	サイハイラン						VU
	マヤラン				VU		
	クマガイソウ				VU	VU	
	セッコク					NT	
	カキラン						VU
	ミヤマウズラ						VU
	シュスラン					VU	CR
	オオミヤマウズラ					EN	CR
	ムカゴトンボ				EN		
	サギソウ				NT	VU	VU
	ミズトンボ				VU	VU	
	ホクリクムヨウラン					VU	
	ムヨウラン						EN
	エンシュウムヨウラン						NT
	ウスギムヨウラン				NT	EN	
	ジガバチソウ						VU
	クモキリソウ						VU
	スズムシソウ				VU		
	ツクシサカネラン				CR		
	コバノトンボソウ						EN
トキソウ				NT	EN		
ヤマトキソウ					VU		
93 科	340 種	0 種	0 種	4 種	141 種	160 種	174 種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ① 「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）に定められた種（特天：特別天然記念物、天：天然記念物）
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成4年法律第75号）に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
- ③ 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（昭和48年愛知県条例第3号）において指定希少野生動植物種に指定された種
- ④ 「環境省レッドリスト」（平成19年、環境省発表）に掲載されている種  
EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
- ⑤ 「レッドデータブックあいち2009」に掲載されている種  
EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
- ⑥ 「レッドデータブックなごや」に掲載されている種  
CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

注2. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

注3. 分類、配列などは、原則として「自然環境保全基礎調査 植物目録1987」（昭和62年、環境庁）に準拠した。

資料：「レッドデータブックあいち2009」（平成21年3月、愛知県環境部）  
「レッドデータブックなごや2004」（平成16年3月、名古屋市環境局）  
「レッドデータブックなごや2010 -2004年版補遺-」（平成22年10月、名古屋市環境局）

### 3) 藻場・干潟・湿地の状況

対象事業実施区域を含む周辺市には、藻場及び干潟の分布はない。

愛知県にはラムサール条約登録湿地である藤前干潟および東海丘陵湧水湿地群が存在するが、対象事業実施区域を含む周辺市区ではない。また、環境省は、生物多様性保全の観点から重要な湿地を500箇所選定している。「日本の重要湿地500」によると、愛知県内には9箇所選定されており、対象事業実施区域を含む周辺市では、表4-2-1-83に示すとおり、1箇所選定されている。

**表 4-2-1-83 湿地の分布状況**

地域	選定基準	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
犬山市 小牧市	2	氾濫原、ため池	淡水魚類	濃尾平野外縁部の ウシモツゴ生息地	ウシモツゴの生息地。

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

基準1：湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・マングローブ林、藻場、サンゴ礁のうち、生物の生育・生息地として典型的又は相当の規模の面積を有している場合

基準2：希少種、固有種等が生育・生息している場合

基準3：多様な生物相を有している場合

基準4：特定の種の個体群のうち、相当数の割合の個体数が生息する場合

基準5：生物の生活史の中で不可欠な地域（採餌場、産卵場等）である場合

資料：「日本の重要湿地500」（平成25年6月現在、環境省ホームページ）

#### 4) 生態系

##### ア. 生態系の状況

「生物多様性保全のための国土区分（試案）」（平成9年、環境庁）によると、対象事業実施区域及びその周囲は本州中部太平洋側区域に属する。本州中部太平洋側区域は暖温帯に属し、年間降水量は中位で、冬季の積雪は少ない区域となっている。この区域の生物学的特性を示す植生はスダジイ、タブノキ等の照葉樹林である。また、この区域は動物相の固有性が高く、ニホンザル等の生息により特徴づけられる。

対象事業実施区域及びその周囲の生態系は、地形・地質、植生等から総合的に判断すると、①北東部の山地から丘陵地にかかる地域、②春日井市から名古屋市の市街地にあたる地域の2地域に区分することができる。なお、各地域の生態系の模式図は、図4-2-1-23に示すとおりである。

- ① 北東部の山地から丘陵地にかかる地域は、山地や丘陵地の森林と谷底平野の耕作地、ため池等で構成される里山の生態系が成立している。この地域で成立する主な植生はスギ・ヒノキ・サワラ植林、モチツツジーアカマツ群集、コナラークリ群落、落葉果樹園等の樹林環境及び水田雑草群落、畑地雑草群落等の草地環境となっている。よって、この地域に生育する植物種は、スギ、ヒノキ、サワラ、アカマツ、コナラ等の木本植物とヤナギタデ、ミゾソバ、セリ、メヒシバ、ヨモギ、ナズナ等の草本植物が生育する。また、一部のため池では、ヨシ等の挺水植物やヒシ等の浮葉植物が見られる。これらを基盤環境として生息する特徴的な動物種としては、アカネズミ、ヒメネズミ等のネズミ類、コウベモグラ等のモグラ類に代表される哺乳類、キジ、ヒヨドリ、ホオジロ、ウグイス、ハシボソガラス等の鳥類、シマヘビ、ニホントカゲ等の爬虫類、カスミサンショウウオ、トノサマガエル等の両生類、ギフチョウ、カブトムシ、ゲンジボタル、タガメ等の昆虫類、オイカワ、ギンブナ、メダカ等の魚類が考えられる。これらを餌とする生態系の上位性の種として、キツネ、イタチ等の哺乳類、オオタカ、サシバ、ダイサギ等の鳥類が考えられる。

② 春日井市から名古屋市の市街地にあたる地域は、平坦な地形に市街地が広範囲に分布し、自然環境は比較的少なく、都市の生態系が成立している。この地域で成立する主な植生は市街地であり、その中に小規模な水田雑草群落、畑地雑草群落、落葉果樹園等が散在している。よって、この地域に生育する植物種の種数は少なく、人為的環境に適応した種、植栽種及び外来種が占める割合が多くなっている。これらを基盤環境として生息する特徴的な動物種としては、ネズミ類、モグラ類等の小型哺乳類、スズメ、ムクドリ等の鳥類、アブラゼミ、モンシロチョウ等の昆虫類が考えられる。また、これらを餌とする生態系の上位性の種として、タヌキ等の中型哺乳類、ハシブトガラス等の鳥類の生息が考えられる。

① 北東部の山地から丘陵地にかかる地域

	キツネ、イタチ、オオタカ、サシバ、ダイサギ		
	オイカワ、ギンブナ、メダカ等	ネズミ類、モグラ類、キジ、ヘビ類、カスミサンショウウオ、ギフチョウ等	
基盤環境	開放水面(ため池)	スギ・ヒノキ・サワラ植林、モチツツジ・アカマツ群集、コナラ・クリ群落、落葉果樹園等の樹林環境	水田雑草群落、畑地雑草群落等の草地環境
生態系区分	里山の生態系		

② 春日井市から名古屋市の市街地にあたる地域

	タヌキ、ハシブトガラス等			
	ネズミ類、モグラ類、スズメ、ムクドリ、アブラゼミ、モンシロチョウ等			
基盤環境	市街地	水田雑草群落	畑地雑草群落	落葉果樹園
生態系区分	都市の生態系			

図 4-2-1-23 生態系の模式図